

記者発表資料

平成28年6月30日
国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所

未来の土木技術者が相馬西道路の工事現場を体験 ～相馬農業高等学校生が相馬西道路を見学～

平成28年7月5日（火）、一般国道115号相馬西道路の工事現場を福島県立相馬農業高等学校環境緑地科の生徒さんが見学いたします。

この見学会は一般社団法人福島県建設業協会の主催によるもので、高校生が直接現場の状況を目にするにより、建設産業についての理解を促し若年者の職業意識を高めることを目標としております。

未来を担う若き技術者の皆さんに、実際の工事現場を身近に知ってもらい、これを機会に建設業への理解が深まればと考えております。

1. 日 時 平成28年7月5日（火）10：05～11：35

2. 場 所 一般国道115号相馬西道路

①(仮) 今田高架橋、②(仮) 横川高架橋、③(仮) 塩手山トンネル

3. 見学者 福島県立相馬農業高等学校 環境緑地科 2年生 17名

4. 報道関係の方におかれましては、10：00までに今田高架橋工事現場（別添位置図参照）に集合をお願いします。

発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
南相馬市役所記者クラブ

問い合わせ

◆事業に関する事

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所

TEL 0246-23-2211（代表）

副所長 石井 重好（内線204）

工務課長 橋本 幸雄（内線411）

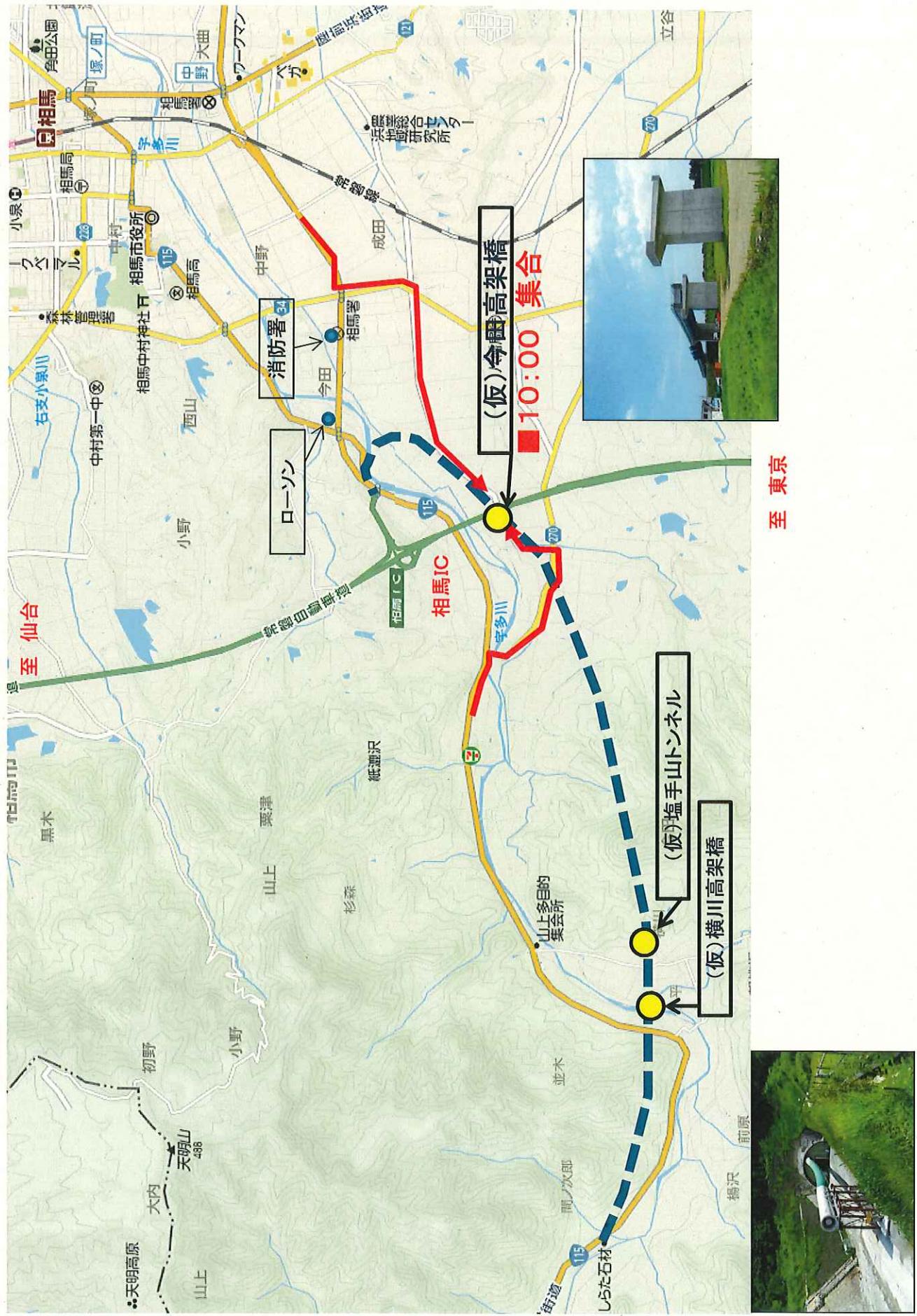
◆見学会に関する事

一般社団法人福島県建設業協会

TEL 024-521-0244

浅野 聰一

7月5日(火) 相馬農業高校現場見学会 集合場所



7月5日(火) 10:00
相馬農業高等學校現場見学会 集合場所



【復興支援道路】一般国道115号 相馬福島島道路の概要

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。



【平面図】

東北中央道(福島～米沢)
L=28km [無料]
福島JCT～福島大釜生IC
L=1.4km
H28年度開通目標

福島大釜生IC
L=26.6km
H29年度開通目標

福島JCT
福島飯坂IC
福島PA
福島西IC
H29年度開通目標

福島市
桑折町
伊達市
相馬市
福島島北JCT
(仮)福島保原線IC
(仮)福島4号IC
福島～福島
L=12.2km
④福島
L=12.0km
②阿武隈東～阿武隈
L=5.0km
①相馬西
L=6.0km
H30年度開通目標

相馬島道路
L=約45km
【無料】

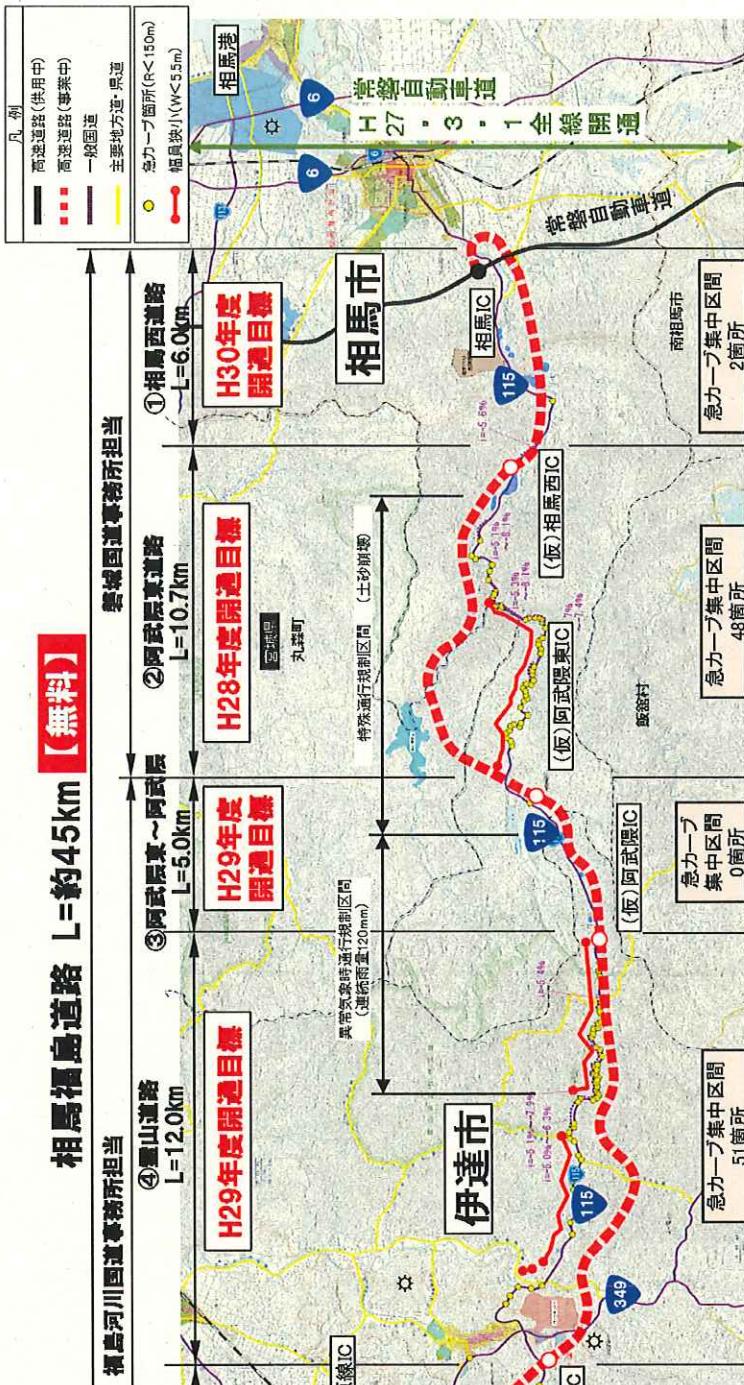
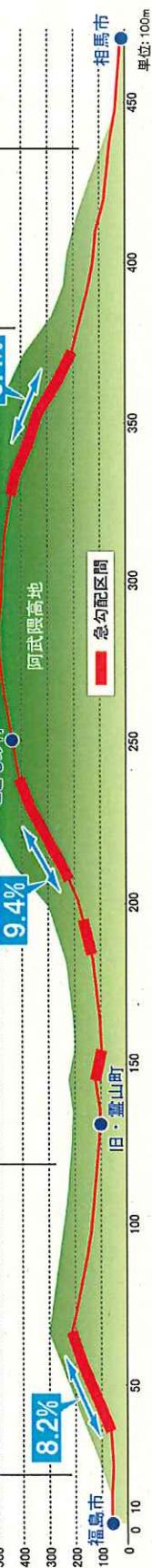
【縦断図】
国道115号

(H26工事着手)
設計、用地買収、改良工事等
推進

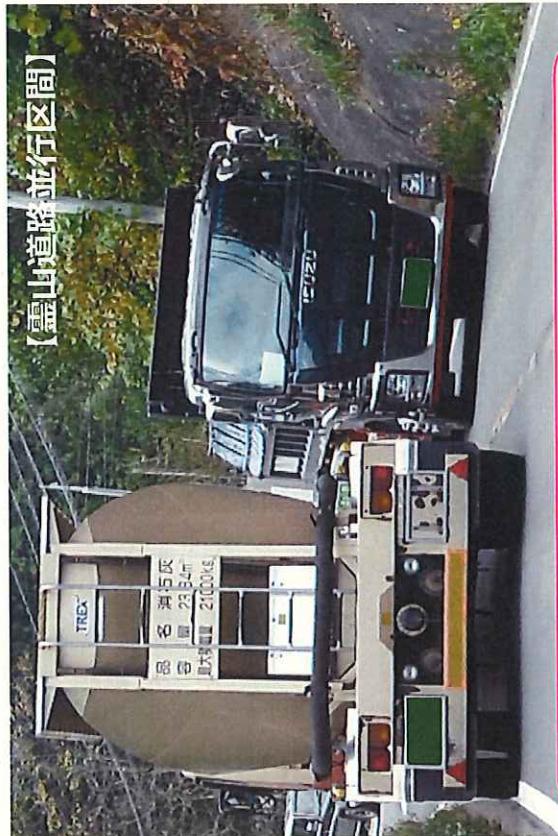
(H25工事着手)
改良工事等推進

(H24工事着手)
改良工事等推進

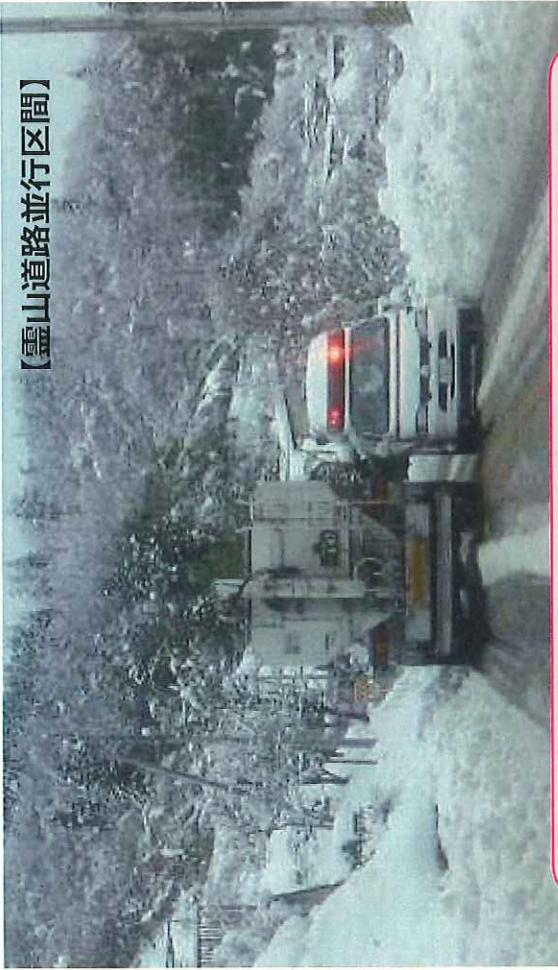
(H23.11事業化)
阿武隈東～阿武隈
H23.11事業化



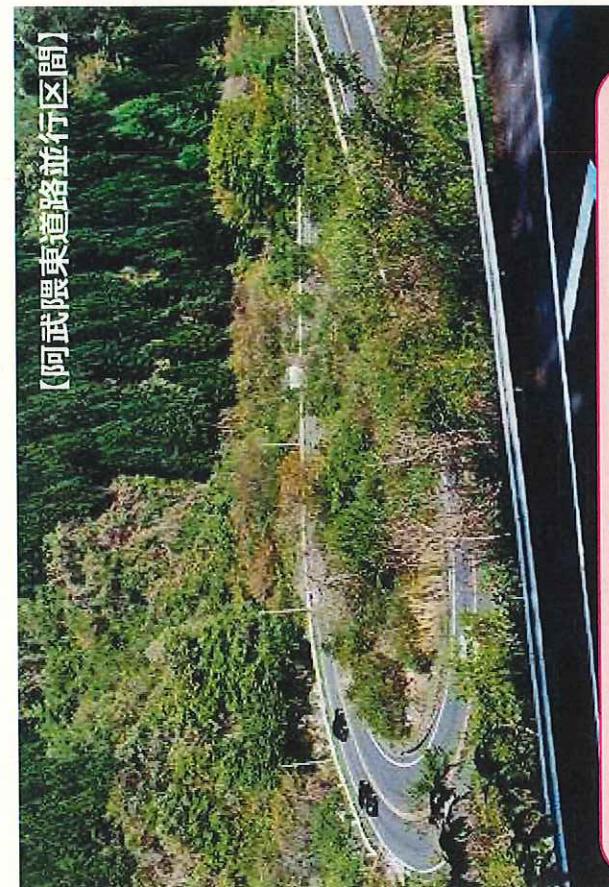
国道115号 相馬へ福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障



急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

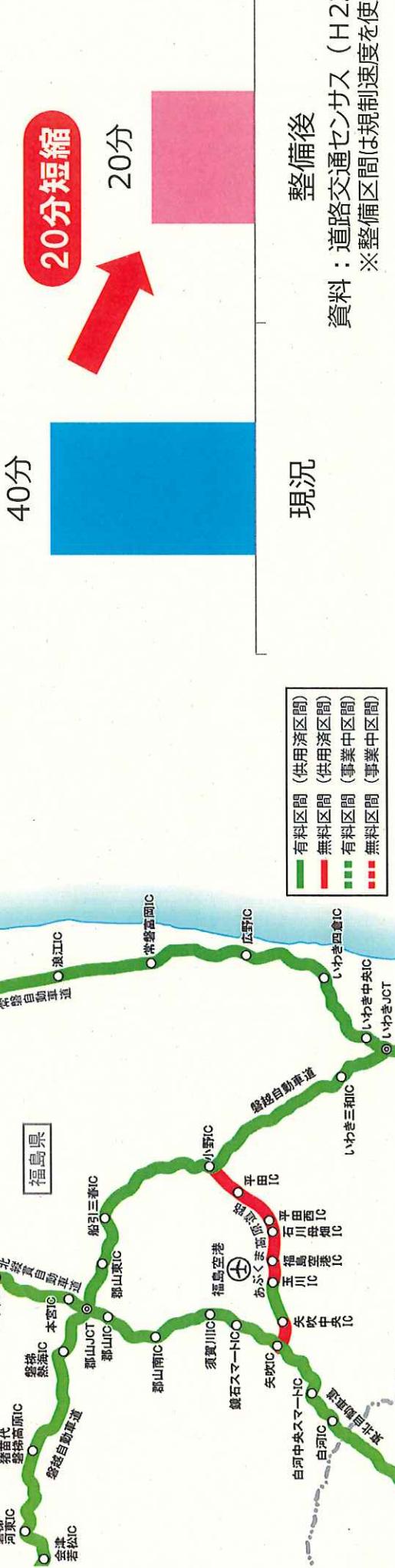
メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島 ⇌ 相馬間が“身近”に！

はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が“可能”になりました。



資料：道路交通センサス（H22）
※整備区間は規制速度を使用

【参考】米沢市 ((仮)米沢IC) ⇌ 福島市 (福島大笹生IC) 間の所要時間の変化



有料区間 (供用済区間)
無料区間 (供用済区間)
有料区間 (事業中区間)
無料区間 (事業中区間)

資料：道路交通センサス（H22）
※整備区間は規制速度を使用

メリット② 悪天候や災害に強い道路

大雨等の悪天候や土砂崩落等の災害に強く、通行止めが少ない道路

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路(は国道115号のみ)



国道115号は、災害等による通行止めが頻発（通行止め18回／17年）※H11～H27

③道路崩落により寸断された国道

国道115号 伊達市豊山町石田
(H27.9)



約1週間の通行止め（全止め）

②豪雪により寸断された国道

国道115号 伊達市豊山町石田
(H26.2)



約1日間の通行止め（全止め）

①落石等により寸断された国道

国道115号 相馬市山上
(H18.6)

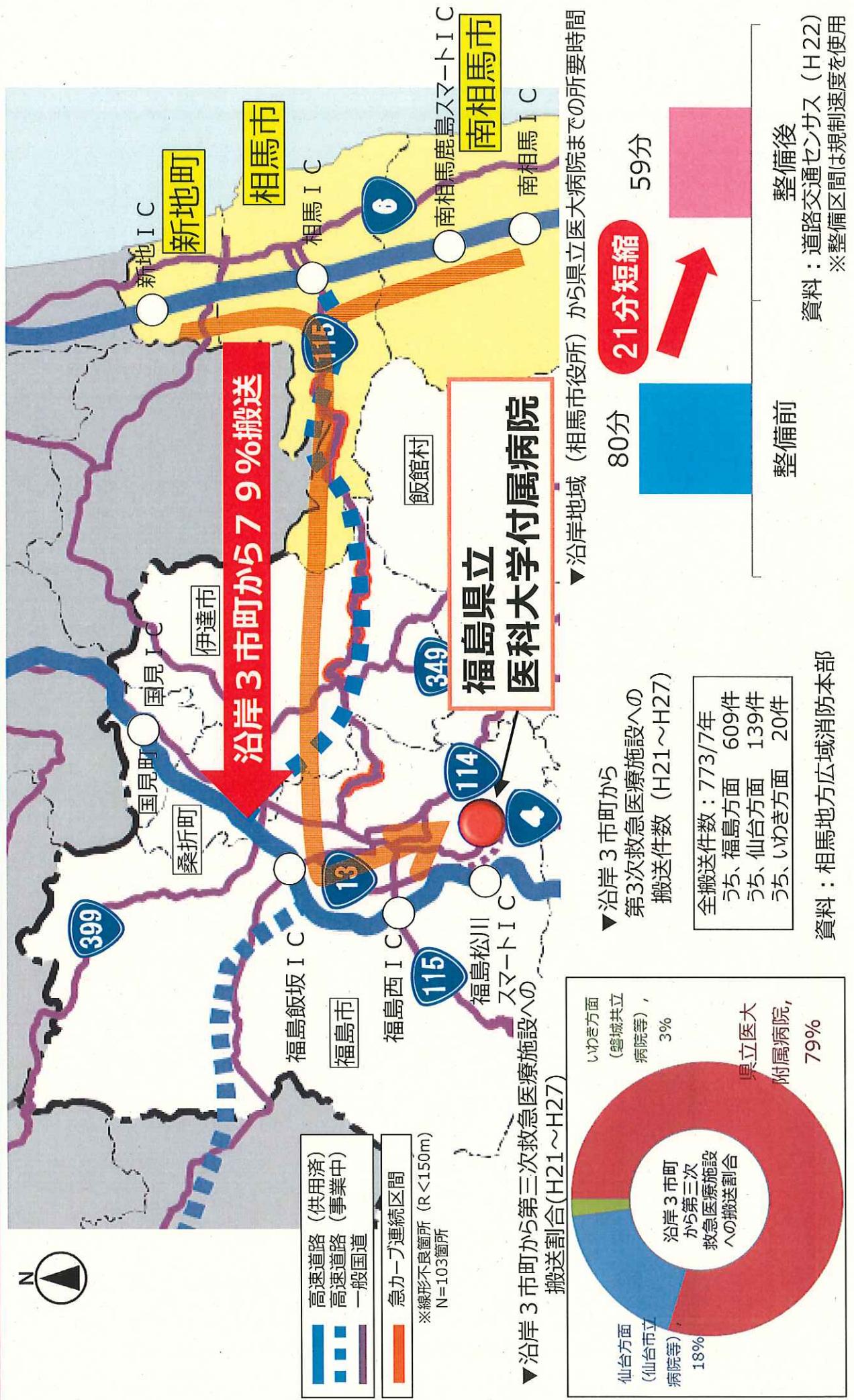


約1ヶ月間の通行止め（全止め）

[例]	主経路	迂回路	通行止めリスク	事前通行止めリスク (津波浸水)	津波浸水区域
↑	↓	→	✗	✗	■

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

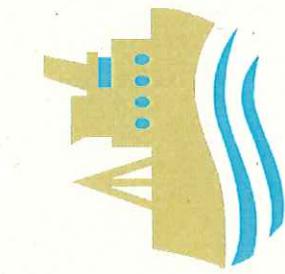
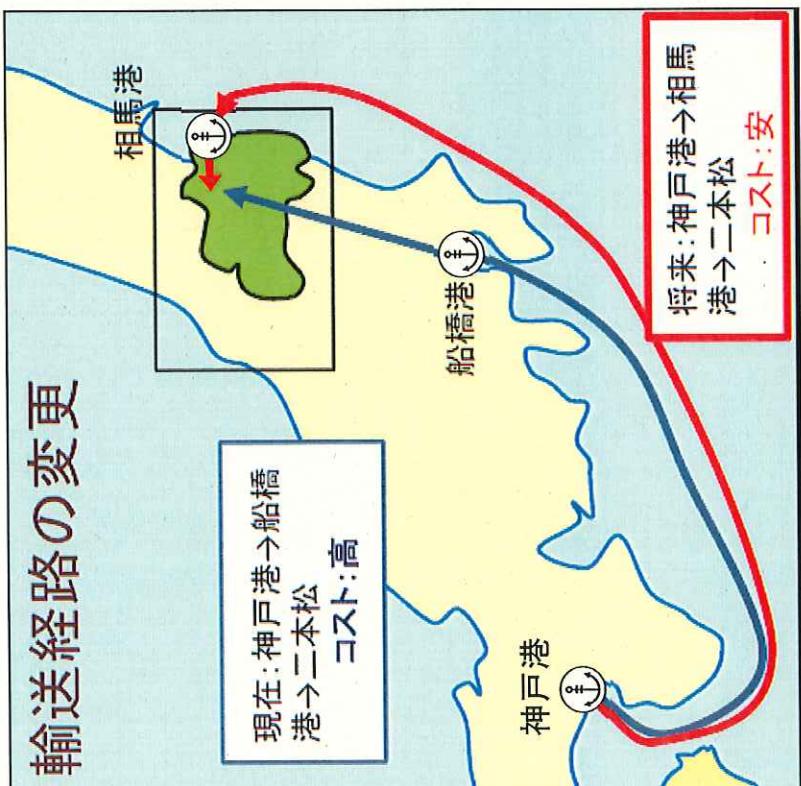
《輸送コスト削減の事例》

I社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現



2,000円/t
のコスト削減

輸送経路の変更



輸送方法の
切り替えイメージ

